

■ 代表者のことば

「今」を未来へつなぐ歴史の教科書

「昔のことを勉強して、今の自分たちの役に立つの?」。これは恐らく、歴史を学ぶ場で何度も繰り返されてきた質問でしょう。過去は現在の私たちと無関係のことと思われがちですが、現在から未来へ進むためには、まず「今」の私たちの立ち位置を確認することが必要です。その位置を時間の流れの中で確かめるのが「歴史」です。自分の歩いてきた足跡が、ふり返ってみてはじめてわかるように、「今」がどのような社会なのかは、過去への「ふり返り」によって確認できるのです。

こうした「ふり返り」は、学びの中でも重要です。この教科書では、生活環境や興味・関心が異なる多様な子どもたちの個別最適な学びを実現するために、あらゆるタイミングで学習の流れを確認できるよう工夫をしています。具体的には、分かりやすい誌面構成で学習の流れを可視化するとともに、ICTの活用によりさまざまな学びの場を実現することに努めています。

また、子どもたちが考えを整理しやすいように、内容を明確に伝えることを重視しました。一つ一つのことばを厳選し、子どもたちの視線を意識しながら丁寧に叙述することを心がけています。この教科書で学ぶ子どもたち一人一人が、過去との対話を通じて現代的な諸課題を認識し、さらに未来へ向けて考えを深めてくれることを期待しています。



高橋 慎一郎
(たかはし しんいちろう)
東京大学史料編纂所教授
1964年生。東京大学文学部
国史学科卒業。博士(文学)。
日本中世史専攻。
■著書/『中世の都市と武士』、
『日本史リブレット 武家の古
都、鎌倉』ほか。

■ 編集に携わった人々

●代表

島津 弘 立正大学教授

●顧問

荒井 正剛 東京学芸大学特任教授
関 裕幸 東京都立小石川中等教育学校主任教諭

秋澤 夢子 いの町立伊野中学校教諭
五十嵐辰博 千葉大学教育学部附属中学校教諭
石高 吉記 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
今村 吾朗 練馬区立石神井西中学校主任教諭
入子 彰子 元文京区立音羽中学校指導教諭
岩本 鷹薫 福井市明倫中学校教諭
上園 悦史 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
江口麻衣子 新潟市立内野中学校教諭
江間 史明 山形大学教授
大石 太郎 関西学院大学教授
緒方 浩臣 横浜市立港中学校校長
岡部 誠 板橋区立志村第一中学校校長
大西 弘員 広島大学附属東雲中学校教諭
小野 大助 福山市立神辺中学校教頭
勝田 俊輔 東京大学教授
鎌倉 夏来 東京大学准教授
唐木 清志 筑波大学教授
河野真理子 早稲田大学教授
木村 博一 広島大学名誉教授
草原 和博 広島大学教授
久保 五月 高知県立高知国際中学校教諭
栗原 久 東洋大学教授
呉羽 正昭 筑波大学教授
小谷 勇人 春日部市立武里中学校教諭
児玉 修 九州保健福祉大学学長
小林 大介 燕市教育委員会指導主事
近藤 晃史 福山市立想青学園教諭
近藤沙耶香 港区立港南中学校主任教諭
今野日出晴 岩手大学教授
佐川 英治 東京大学教授
佐久間敦史 大阪教育大学准教授
迫 真也 広島市立祇園中学校教諭
佐々木智章 早稲田大学高等学院教諭
佐藤 弘直 厚木市立依知中学校教諭
佐藤 全敏 東京女子大学教授
重 秀雄 広島市立中広中学校主幹教諭
篠田 穰 福岡教育大学附属福岡中学校主幹教諭
篠塚 昭司 東京学芸大学附属世田谷中学校主幹教諭
白澤 保典 東村山市立東村山第四中学校主任教諭
須釜 昇平 八千代市立村上東中学校教諭

高橋 慎一郎 東京大学史料編纂所教授

矢ヶ崎典隆 東京学芸大学名誉教授 小原 友行 福山大学教授
戸波 江二 早稲田大学名誉教授 間宮 陽介 京都大学名誉教授

菅谷 昌弘 札幌市立平岡緑中学校教頭
薄田 和弥 札幌市立元町中学校教諭
鈴木 拓磨 豊島区立千登世橋中学校主幹教諭
関戸 明子 群馬大学教授
関 眞規子 文京区立第六中学校指導教諭
瀬戸 康輝 広島市立大塚中学校教諭
早福 史 新潟市立高志中等教育学校教諭
高田 孝雄 足立区立東綾瀬中学校指導教諭
高橋 晶 千葉大学教育学部附属中学校教諭
高橋 達弥 足立区立第十四中学校主幹教諭
高山 知機 世田谷区立太子堂中学校校長
田崎 義久 東京学芸大学附属小金井中学校教諭
田中 将吾 福山市立済美中学校教諭
田中 伸 岐阜大学准教授
谷藤 良昭 千葉市立稻毛国際中等教育学校教諭
千葉 功 学習院大学教授
千葉 一晶 調布市立第四中学校副校長
坪田 益美 東北学院大学准教授
寺本 誠 お茶の水女子大学附属中学校教諭
土肥大次郎 長崎大学准教授
豊嘉 啓司 福岡教育大学教授・副学長
内藤 圭太 東京学芸大学附属竹早中学校教諭
中尾 学 台東区立上野中学校主幹教諭
中北 浩爾 中央大学教授
中平 一義 上越教育大学教授
中村 達矢 福岡市立金武中学校教諭
中山 晃介 福井市光陽中学校教諭
新坂 大輔 清瀬市立清瀬第二中学校主幹教諭
服部 一秀 山梨大学教授
濱田 幸伸 高知大学教育学部附属中学校教諭
濱本 大悟 江東区立深川第八中学校主任教諭
東野 茂樹 葛飾区立堀切中学校副校長
藤井 辰典 松原市立松原中学校教諭
藤瀬 泰司 熊本大学教授
藤田 詠司 高知大学教授
藤田 淳 東村山市立東村山第二中学校主幹教諭
藤原 一弘 愛媛大学准教授
星野 勇悟 大東市立四条小学校首席
細野 悠司 埼玉大学教育学部附属中学校教諭
前田 良介 福山市立培遠中学校教諭

谷口 将紀 東京大学教授

坂上 康俊 九州大学名誉教授

真壁 佑輔 札幌市立上野幌中学校教諭
牧 紀男 京都大学防災研究所教授
松澤 克行 東京大学史料編纂所教授
松下 誠 福岡市立住吉小中学校校長
松多 信尚 岡山大学教授
松原 健明 横須賀市立武山中学校総括教諭
溝口 和宏 鹿児島大学教授
峯 明秀 大阪教育大学教授
向井 敏幸 福井市足羽中学校教諭
毛利 透 京都大学教授
森川 禎彦 福井大学教育学部附属義務教育学校教諭
森山 幸一 福岡市立友泉中学校教諭
諸富 徹 京都大学教授
山貝 洋輔 新潟大学附属新潟中学校教諭
山田 秀和 岡山大学教授
湯澤 規子 法政大学教授
吉田圭一郎 東京都立大学教授
吉水 裕也 兵庫教育大学理事・副学長
渡辺 宏輝 札幌市立明園中学校教諭
渡邊 頼史 福山市立城南中学校教諭
鰐淵 翔大 札幌市立栄町中学校教諭

● ICT の活用に関する校閲

稲垣 忠 東北学院大学教授
緒方 広明 京都大学教授
小柳和喜雄 関西大学教授
小崎 誠二 奈良教育大学客員准教授
泰山 裕 鳴門教育大学大学院准教授
寺澤 孝文 岡山大学教授

● 特別支援教育に関する校閲

田中 良広 帝京平成大学教授
道面 美紀 墨田区立本所中学校指導教諭

ほか1名
東京書籍株式会社

● 色彩デザインに関する編集協力
色覚問題研究グループぱずてる

教科書活用
Q & A更新中!



*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

東京書籍

パンフ+αの情報を特設サイトで!

東京書籍 中学校 歴史



この資料は、令和7年度用中学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

令和7年度
中学校

内容解説資料

新編 新しい社会
歴史



東京書籍

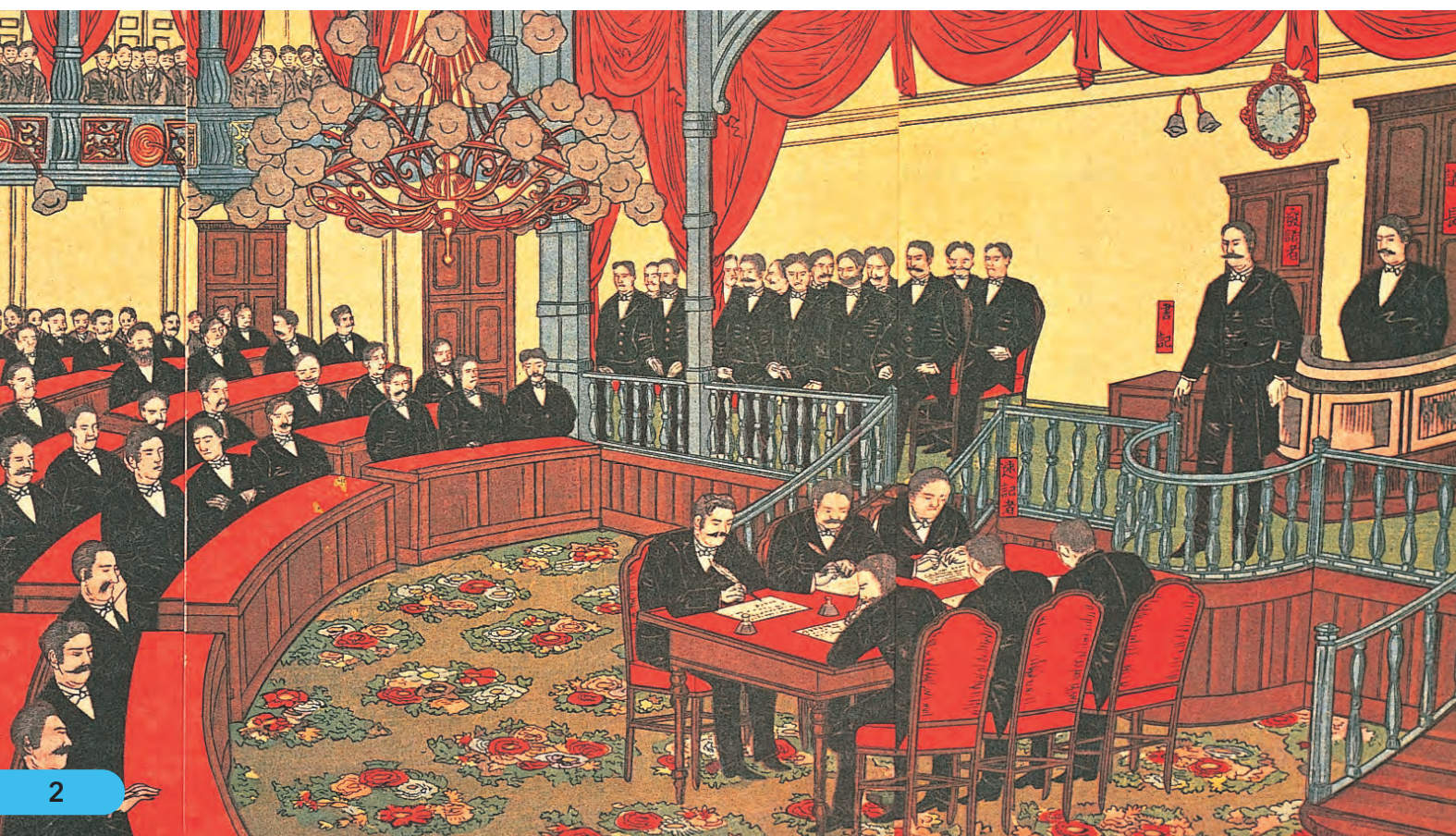
中学校社会科用 文部科学省検定済教科書
2 東書 歴史002-72

東京書籍

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1
支社・出張所 Tel:03-5390-7373(社会編集部) Fax:03-5390-6015
札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260 大阪 06-6397-1350
広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770
那覇 098-834-8084
ホームページ https://www.tokyo-shoseki.co.jp
教育情報サイト 東書Eネット https://ten.tokyo-shoseki.co.jp



今と向き合い、持続可能な社会の実現に向けて
 「これからの社会と 生き抜く力」を育む



「新編 新しい社会 歴史」3つの特色

特色

1

課題解決的な学習に
わくわくをプラス！



わくわくを誘う 学びの入り口 8
1時間の学習の流れを「見える化」 12
学びを実感！学習のまとめ 14

特色

2

紙とデジタルで
学びがアップデート！



さまざまなシーンに最適な
QRコンテンツ 18
多彩なQRコンテンツで
学びをサポート 20

特色

3

生徒一人一人と
社会がつながる教科書



一人一人の資質・能力を育てる工夫 22
今と向き合い これからのを考える教科書 24
誰一人取り残されない学びのために 26

「新編 新しい社会 歴史」の
編集にあたって
— 編集部からのメッセージ —



この教科書は課題を自分たちで見つけ、考え、伝えるというプロセスを大切にしながら、現代社会につながる歴史を学んでほしいとの思いで、多くの人たちの力を集めて作られました。人類の出現から現在に至るまでの出来事を学び、私たちが生きる「今」のどこに課題があるのか、それはなぜ起こっているのか、どうしたら解決に向かうのか、これからの社会の在り方までを一緒に考えられるように紙面を工夫しました。中学生のみなさんに、歴史自体の面白さ、また歴史との対話によって現代の諸課題の理解が深まることの面白さを感じてもらえることを願っています。

目次

教科書の構成と学びの流れ	6	教師用指導書・学習者用デジタル教科書のご案内	28
特色① 課題解決的な学習にわくわくをプラス！	8	観点別特色一覧	30
特色② 紙とデジタルで学びがアップデート！	18	単元構成と配当授業時数	35
特色③ 生徒一人一人と社会がつながる教科書	22	代表者のことば	

「問い」を中心に課題解決的な学習を実現！

教科書の構成と学びの流れ

単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるよう、単元を貫く**探究課題**を設定しました。1時間ごとの**学習課題**と探究課題をつなぐ踊り場の問い（**探究のステップ**）を設けることで、段階を踏んでスムーズに探究課題を解決できる構成になっています。

問いの構造イメージ



課題をつかむ

動機付け

方向付け

導入

導入の活動では、章の学習を通して追究する「探究課題」を設定します。生徒が自ら課題を設定することで、学習の動機付けや学習の見通しの方向付けを行います。



課題を追 究する

情報収集

考察

展開

展開では、歴史に関わる事象、歴史に見られる課題などを、歴ながら多面的・多角的に考察の意味や意義、文化の特色、歴史的な見方・考え方を働かせていきます。



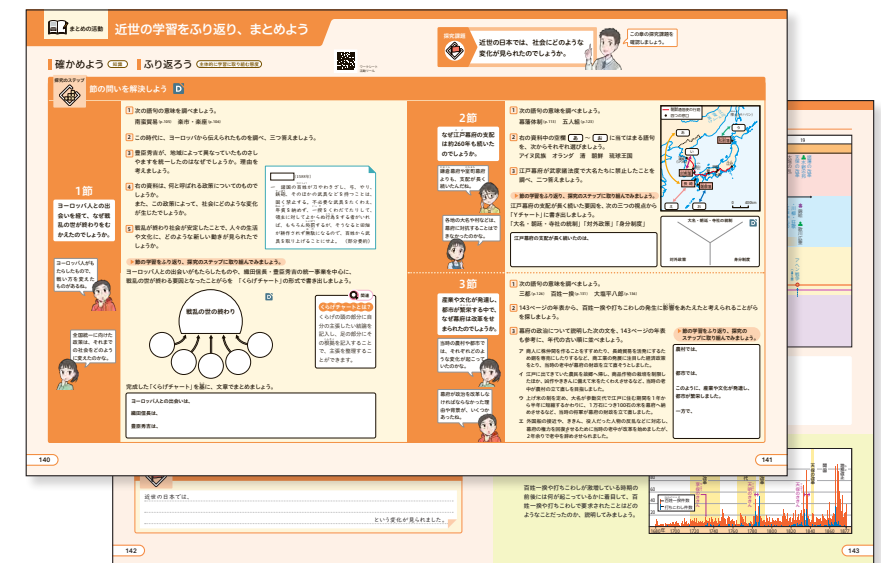
課題を解決する

ふり回り

まとめ

まとめ

これまで学んだことをふり回り、思考・判断したことを自分の言葉で説明したり議論して、「探究課題」の解決に取り組みます。



探究課題
章を貫く問い

▶ 本書 p.10~11

学習課題
1時間の問い

チェック&トライ
1時間のふり回り

▶ 本書 p.12~13

探究のステップ
節の問いの解決

探究課題
章を貫く問いの解決

▶ 本書 p.14~17

わくわくを誘う 学びの入り口

第4章 近世の日本

教科書 p.98～99の
実寸大



導入の活動

近世の社会の様子を
とらえよう

小学校の社会で
習ったことば

鉄砲 キリスト教 楽市・楽座 検地 刀狩 江戸幕府
参勤交代身分 鎖国 歌舞伎 浮世絵 蘭学 国学

この船は、どこへ
向かうのかな。



自然な疑問や
気付きから課題を設定し、
学びの見通しを
持てるのじゃな！

1 南蛮人の来航 (狩野内膳筆 南蛮人渡来図屏風 兵庫県 神戸市立博物館蔵) 小学校



2 江戸城 (江戸図屏風 千葉県 国立歴史民俗博物館蔵) 小学校

こんな人を見つけたよ。
みんなも探してみよう。

みんなでチャレンジ

- (1) 個人活動 1 2にはどのような人々がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。
- (2) グループ活動 1でえがかれている様子と関連の深いイラストを、右ページの年表から選び、どのような関連があるのか説明しましょう。
- (3) グループ活動 1～7の資料を参考にしながら、前の時代と比べて、この時代になって変化していること、変化せずに続いていることはそれぞれ何か、話し合しましょう。

第4章「近世の日本」では、南蛮人渡来図屏風や江戸図屏風などの資料を読み取り、**前の時代と比較**しながら、探究課題を設定します。
それぞれの章ごとに、**探究課題の設定につながる**資料の精選、活動内容の吟味を徹底しました。

この章で学ぶ時期・年代 14～16世紀のヨーロッパ / 戦国時代(16世紀) ▶ 江戸時代(幕末)

世紀	15	16	17	18	19
時代	戦国時代 室町時代		安土桃山時代	江戸時代	



4 参勤交代の行列
(石川県立歴史博物館蔵)

小学校



5 歌舞伎
(18世紀半ば)(東京都
平木浮世絵財団蔵)

小学校



6 新しい農具
(東京大学史料編纂所蔵)

7 打ちこわしの様子 (幕末江戸市中騒動図 東京国立博物館蔵)

小学校



中世の日本と似たところもあるけれど、いろいろな変化がありそうだよね。

第4章で探究する問いは？

探究課題



近世の日本では、
社会にどのような変化が
見られたのでしょうか。



この章では、まず、ヨーロッパ世界の変化と、それが日本にあたえた影響を追っていきましょう。そのうえで、江戸幕府の支配がなぜ長く続き、社会にどのような変化が見られたのか、武士以外の身分にも着目しながら追究することを通して、時代の特色をとらえましょう。

探究のステップ



各節の学習では、次の課題を追っていきましょう。

1 節

ヨーロッパ人との
出会いを経て、
なぜ戦乱の世が終わりを
むかえたのでしょうか。

鉄砲やキリスト教の伝来は、戦国時代から江戸時代への移り変わりに何か関係があるのかな。

2 節

なぜ江戸幕府の支配は
約260年も続いた
のでしょうか。

年表を見ると、江戸時代の長さが目立つね。江戸時代は、なぜそんなに長く続いたのかな。

3 節

産業や文化が発達し、
都市が繁栄する中で、
なぜ幕府は改革を
せまられたのでしょうか。

武士以外の身分の人たちは、幕府の支配や社会の変化の影響を受けていたのかな。

主体的な学びにつながる 導入ページ

単元の導入では、活動を通して、生徒が **主体的に学びに向かえる** ようにしました。
単元を貫く探究課題の設定 へスムーズに導き、単元の学習の見通しを持つことができます。



▼ p.98~99

第4章 近世の日本



近世の社会の様子をとらえよう

小学校の社会で習ったことば

鉄砲 キリスト教 楽市・楽座 検地 刀狩 江戸幕府
参勤交代身分 鎖国 歌舞伎 浮世絵 蘭学 国学

この船は、どこへ向かうのかな。

小学校のふり振り返り



小学校の社会で習ったことば 鉄砲 キリスト教 楽市・楽座 検地 刀狩 江戸幕府
参勤交代身分 鎖国 歌舞伎 浮世絵 蘭学 国学

小学校社会科で学習した用語は「小学校の社会で習ったことば」として掲載しました。また、小学校社会科の教科書に掲載されている資料には「小学校マーク」を付しました。

1 南蛮人の来航 (狩野内膳筆 南蛮人渡来図屏風 兵庫県立美術館蔵)



こんな人を見つけたよ。みんなも探してみよう。

みんなでチャレンジ



- (1) 個人活動 1 2にはどのような人々がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。
- (2) グループ活動 1でえがかれている様子と関連の深いイラストを、右ページの年表から選び、どのような関連があるのか説明しましょう。
- (3) グループ活動 1~7の資料を参考にしながら、前の時代と比べて、この時代になって変化していること、変化せずに続いていることはそれぞれ何か、話し合しましょう。

この章で学ぶ時期・年代 14~16世紀のヨーロッパ 戦国時代(16世紀) 江戸時代(幕末)

世紀	15	16	17	18	19
時代	室町時代	安土桃山時代	江戸時代		

4 参勤交代の行列
(石川県立歴史博物館蔵)

5 歌舞伎
(18世紀半ば) (東京都平塚市立歴史博物館蔵)

6 新しい農具
(東京大学史料編纂所蔵)

7 打ちこわしの様子
(幕末江戸市中蔵 東京国立博物館蔵)

8 中世の日本と似たところもあるけれど、いろいろな変化がありそうですね。

リニューアル

キャラクター年表

小学校社会科で学習した人物キャラクターを中心にした年表によって、小学校のレディネスを生かしながら、これから学習する時代を見通すことができますようになりました。

リニューアル

第4章で探究する問いは？



近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。



各節の学習では、次の課題を追究していきましょう。

1節

ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをもてたのでしょうか。

鉄砲やキリスト教の伝来は、戦国時代から江戸時代への移り変わりに何かに関係があるのかな。

2節

なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。

年表を見ると、江戸時代の長さが目立つね。江戸時代は、なぜそんなに長く続いたのかな。

3節

産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせられたのでしょうか。

武士以外の身分の人たちは、幕府の支配や社会の変化の影響を受けていたのかな。

単元全体を見通せる！

探究課題の解決への着目点を対話形式で提示

単元全体を学んでいくうえでの見通し、探究課題・探究のステップの解決に向けてヒントとなる着目点を、キャラクターのセリフで対話的に示しました。

▶ 導入ページのQRコンテンツについては、本書p.18~19をご覧ください。

1時間の学習の流れを「見える化」

本文や資料、「チェック&トライ」、年表スケールインデックスやQRコードなど、**紙面の要素を定位置に配置**。学習の流れを「見える化」したことで全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。



1時間の学習の流れ

- 導入資料**
1時間の課題をつかみきっかけとなる資料を大きく掲載しています。
- 学習課題**
このページで学習する内容について、見通しを持つことができます。
- 本文**
学習内容を分かりやすく文章にしています。重要な用語などは太字で示しています。
- チェック&トライ**
1時間の学習の最後に取り組んで、学んだことをふり返ります。

新設
NEW

生徒の興味・関心を誘うサブタイトル

意識が変わる、宗教が変わる

本時の内容の上に、生徒の興味・関心を誘うサブタイトルを設けました。

新設
NEW

QRコードを定位置に掲載！

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもQRコンテンツを活用できます。

紙面上はこのマークが目印！



詳しくは、本書p.20～21をご覧ください。

p.100～101

1 節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一



1 ギリシャ・ローマ神話の三女神をえがいた絵(古代:イタリア ナポリ国立考古学博物館蔵、中世:イギリス 大英図書館蔵、ルネサンス:ボッティチェリ「春」 イタリア ウフィツィ美術館蔵)

1の三つの絵の三女神を比べて、共通点と異なる点を挙げよう。

1 意識が変わる、宗教が変わる



2 レオナルド・ダ・ビンチの「モナ・リザ」(フランス ルーヴル美術館蔵)

①中世までのキリスト教では、人間は生まれながらにして罪を負った弱々しい存在とされていました。
②古代ギリシャの文化は、イスラム世界経由(677)で伝えられました。古代ローマの文化は、各地の寺院に保存されていた古文書から明らかにされました。



2 ヨーロッパ世界の変化

イスラム世界と接したヨーロッパ世界は、どのように変化したのでしょうか。

中世のヨーロッパでは、14世紀にペスト(黒死病)が大流行して、人口の3分の1近くが失われました。このため人々は、人の命や生きることの意味について、新しい考えを持ち始めました。その手がかりとなったのが、キリスト教との関係が薄くなったことでした。また、15世紀のギリシャとローマの華やかな文化で、またレオナルド・ダ・ビンチやミケランジェロの作品に見られるように、人間の身体を表現する美術や文学の作品が作られました。

こうして、人間そのものに価値を認め、人のいきいきとした姿を表現するルネサンス(文芸復興)が開花しました。ルネサンスは主に都市の人々が進めた文化運動であり、当時豊かな都市が多かったイタリアで14世紀に始まって、16世紀にかけてヨーロッパ各地に広がりました。

16世紀の西ヨーロッパでは、キリスト教にも新しい動きがありました。ローマ教皇が、大聖堂建築のための資金を集めようとして免罪符を売り出すと、これを批判して、ドイツではルターが、スイスではカルバンが、宗教改革を始めました。両者は、教会の指導に従うのではな



3 ミケランジェロの「ダビデ」(イタリア アカデミア美術館蔵 高さ434cm)

ラファエロはルネサンス期のイタリアを代表する画家です。遠近法をたくみに使った姿で古代ギリシャ(p.30)の有名な学者たちをえがいています。

(1)現在の世界地図と比べて正確にえがかれている地域と、正確でない地域をそれぞれ挙げよう。
(2)(1)のちがいがなぜ生じたのか、考えよう。

聖書を自分で読んで理解することに信仰の中心を置きました。中世以来、カトリック教会には務めを果たさない聖職者もいたため、この教えを受け入れた人々も多く、彼らはプロテスタント(抗議する者)と呼ばれました。

また、諸国の王の中には、教皇の権威からのがれるために宗教改革を支援する者もいました。このため西ヨーロッパのキリスト教は、カトリックとプロテスタントの二つに分かれて対立し、宗教戦争も起こりました。

カトリック教会も、プロテスタントに対抗して改革を始めました。その中心となったイエズス会は、ザビエルなどの宣教師を派遣してアジアやアメリカ大陸への布教も行いました。

15世紀から16世紀のヨーロッパでは、羅針盤や天体観測に基づく航海術が進歩し、世界地図も作られ始めました。このため、ヨーロッパ人は遠洋に乗り出すことができるようになりました。

また、17世紀には望遠鏡などの観測機械が発明されて、自然への探究が盛んになりました(科学革命)。ガリレイやニュートンらが天体や物質の運動法則を解明して、ヨーロッパの科学はイスラム世界に比べて世界最高水準となりました。



4 マルティン・ルター(1483～1546) 7 ジャン・カルバン(1509～64)

宗教改革を中心になって進める

ルターとカルバンは、聖職者を特別な存在とは見なせず、教会の組織を改革しました。彼らの教えは、イギリスやフランス、オランダ、北ヨーロッパ、後のアメリカ合衆国にも広まりました。

1490年にドイツで作られた世界地図(イギリス 大英図書館蔵)

羅針盤 方位磁石のことで、中国で発明され、遠洋航海には欠かせないものでした。

リニューアル

整理された活動コーナー

1の三つの絵の三女神を比べて、共通点と異なる点を挙げよう。

資料の読み取りを促す問いには、🔍を付けました。また、資料を読み取るうえでヒントとなる見方・考え方は、🔍で示しました。

▶ 本書p.22もご覧ください。

リニューアル

時代感覚を養う 年表スケールインデックス

見開きで学習している時期を示す年表スケールをより大きくし、歴史全体の中での位置付けが把握しやすくなりました。

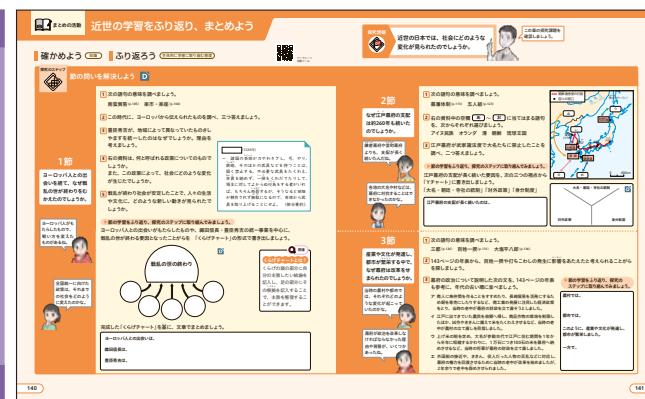
▶ 本文ページのQRコンテンツについては、本書p.18～19をご覧ください。

学びを実感！ 学習のまとめ

学習のまとめのページを大幅に見直しました。

段階的に取り組むことで、単元を貫く探究課題の解決につなげます。

問いを軸にした課題解決的な学習によって時代全体を大観することを目指します。



探究課題 解決の流れ

1 確かめよう
単元で学んだ知識を資料や思考ツールなどで確認します。

2 ふり返ろう
節の問い(探究のステップ)に取り組み、節ごとに学習をふり返ります。

3 深めよう
思考ツールなどを用いて考えを整理し、探究課題の解決につなげます。

4 探究課題を解決しよう
3でまとめた自分の考えをもとに、探究課題の解決に取り組みます。

▼ p.140~141

近世の学習をふり返り、まとめよう

1 確かめよう

2 ふり返ろう

探究課題

近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。

1 2

1 節

この時代に、ヨーロッパから伝えられたものを調べ、三つ答えよう。

2 節

なぜ江戸幕府の支配は約260年続いたのでしょうか。

3 節

産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革を求めたのでしょうか。

探究のステップ

節の問いを解決しよう

1 次の問いの意味を調べよう。

2 次の問いの意味を調べよう。

3 次の問いの意味を調べよう。

探究課題

近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。

1 2

▼ p.142~143

近世の学習をふり返り、まとめよう

3 深めよう

4 探究課題を解決しよう

探究課題

近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。

3 4

1 節

この時代に、ヨーロッパから伝えられたものを調べ、三つ答えよう。

2 節

なぜ江戸幕府の支配は約260年続いたのでしょうか。

3 節

産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革を求めたのでしょうか。

探究のステップ

節の問いを解決しよう

1 次の問いの意味を調べよう。

2 次の問いの意味を調べよう。

3 次の問いの意味を調べよう。

探究課題

近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。

3 4

評価の観点の明示

「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」のアイコンを示し、評価の観点との関連が分かりやすくなりました。

知識 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

探究のステップを積み重ねて章のまとめへ

節の問いを解決しよう

キャラクターの吹き出しをヒントにしながら、思考ツールを使って節のまとめができるコーナーです。ステップを踏むことで、章のまとめ「深めよう」や探究課題の解決にスムーズに向かうことができます。

探究課題を解決しよう

探究課題を解決し、自分の言葉で表現するコーナーです。対話的な活動と思考ツールが解決へと導きます。

▶ 本書 p.16~17 もご覧ください。

時代を再度大観！ 年表でこの時代を ふり返ろう

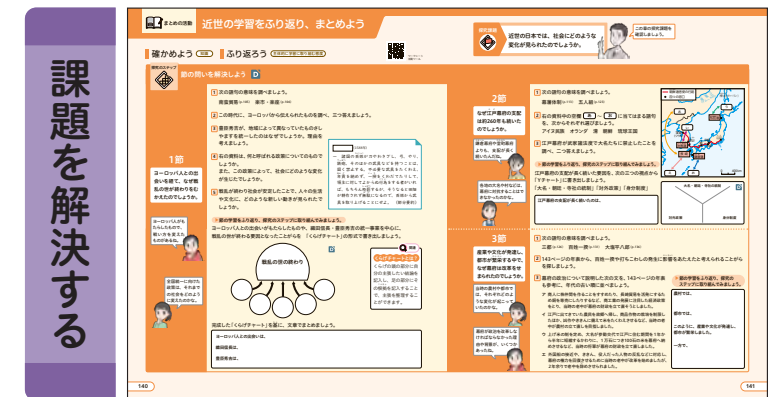
探究課題を解決した後に、年表と資料で再度時代全体をふり返り、次の章の学習へつなげます。

▶ まとめページのQRコンテンツについては、本書 p.18~19 をご覧ください。

課題解決的な学習にわくわくをプラス！

多様なツールで 思考を整理

まとめページでは、自らの **思考を整理するさまざまなツール** を用意しました。
紙の教科書とQRコンテンツを組み合わせることで、より多様な活動が展開できるようになりました。



「新編 新しい社会 歴史」に掲載の思考ツール

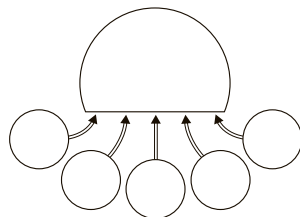
▶ 節の学習をふり返り、探究のステップに取り組んでみましょう。

くらげチャートの足の部分に、日本で近代化が進んだ理由を入れてみましょう。

くらげチャートとは？

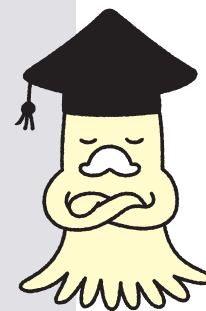
関連

くらげの頭の部分に自分の主張したい結論を記入し、足の部分にその根拠を記入することで、主張を整理することができます。



▶ p.199
「くらげチャート」を活用した
探究のステップの解決例

自分の考えが
目に見える形になると
整理しやすくなるの



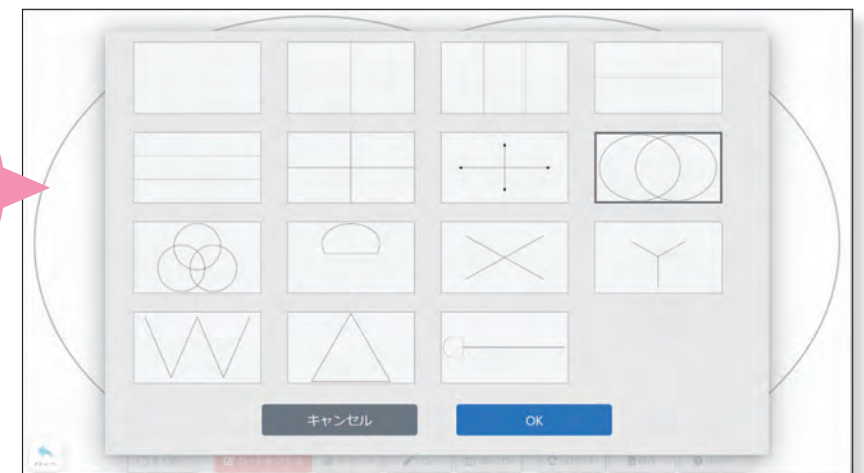
QRコンテンツでも思考ツールが充実！

教科書に示した思考ツール以外も選択できるので、自分なりの方法で思考を整理することができます。

▶ 本書p.19もご覧ください。

使いたい
思考ツールを
自由に選べる！

こちらから
実際に
試せます



思考ツールの解説も充実！探究のステップ・探究課題の解決がよりスムーズに！

ステップチャートとは？

推移

出来事が起こった順につなぐことで、出来事の推移を分かりやすく整理することができます。

▶ p.94「ステップチャート」

ピラミッドランキングとは？

比較・関連

さまざまな事項を重要だと考える順番に並べることで、事項を整理したり評価したりでき、特に重要度が高いものをしぼりこむことができます。

▶ p.272「ピラミッドランキング」

教科書に掲載の主な「思考ツール」

教科書ページ	内容
P.60	ウェビング
P.62	ステップチャート
P.96	Xチャート
P.140	くらげチャート
P.142	フィッシュボーン図
P.200	コンセプトマップ
P.242	くま手チャート
P.271	トゥールミン図式
P.272	ピラミッドランキング

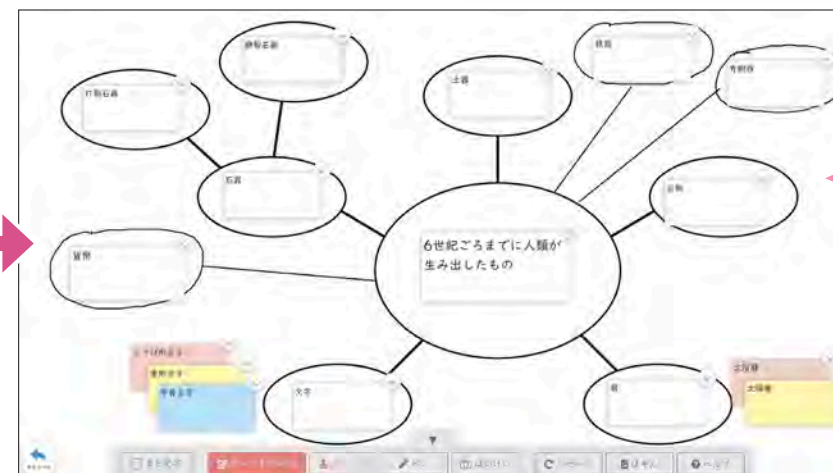
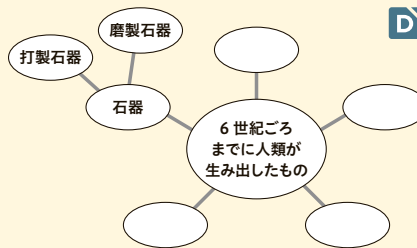
▶ p.60「ウェビング」を活用した探究のステップの解決例

▶ 節の学習をふり返り、探究のステップに取り組んでみましょう。

関連

ウェビングとは？

まとめるテーマを明確にして中心に書き、そこから連想するものを周囲に書き出して線でつないでいくことで、さまざまな事項の関連を整理することができます。



付せんのように
自在に入力！



こちらから
実際に
試せます

紙とデジタルで学びがアップデート！

さまざまなシーンに最適なQRコンテンツ

導入・展開・まとめの学習段階に応じて
最適なコンテンツを用意しました。

生徒の **個別最適な学び** や **協働的な学び** を支えます。

学びのシーンに合った
便利な QR コンテンツが
用意されているのじゃな



導入



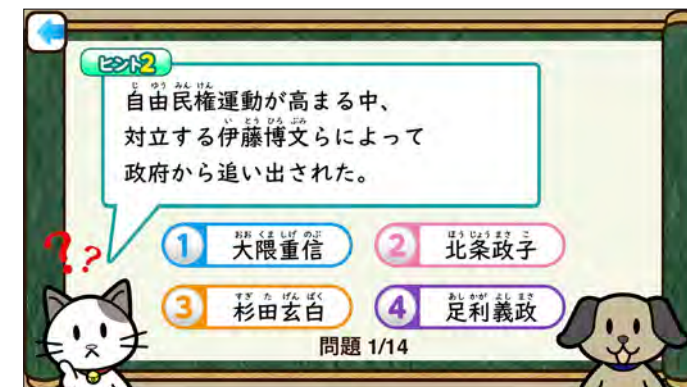
QRコンテンツは
こちら

導入ページでは、小学校
のレディネスを確認しな
がら、時代全体を見通す
ことができる「導入クリッ
プ」や「だれだろう？歴史
人物」、活動内容に沿った
「ワークシート」などを
用意しました。

▶ p.144～145

導入クリップ（動画）

小学校で学習した内容を想起するとともに、これから学習する内容を
確認し、時代全体を俯瞰できます。



クイズ だれだろう？歴史人物

小学校で学習した人物をクイズ形式で確認できます。レディネスを
整えることに役立てられます。

展開



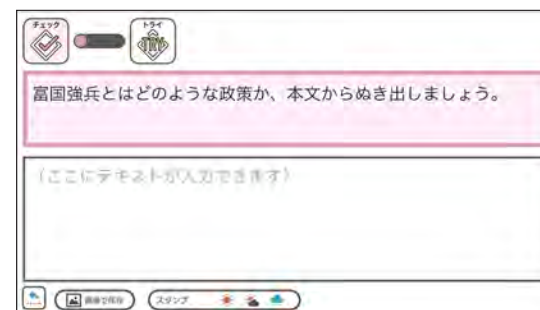
QRコンテンツは
こちら

本文ページでは、教科書
に掲載の資料を端末上で
拡大して見ることができる
「D-ZOOM」、NHK for
Schoolを中心とした
「D-MOVE」などを
用意しました。

▶ p.170～171

チェック＆トライ

1時間の授業のまとめとして、学習のふり返りとして
活用できます。入力した解答は画像で保存できます。



D-ZOOM

教科書に掲載の資料を拡大して
じっくりと読み取り、活用につな
げることができます。

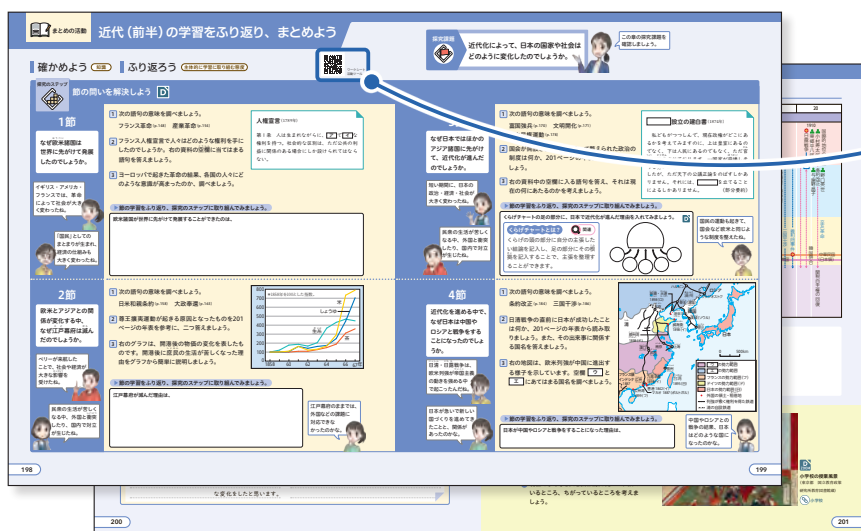


D-MOVE（動画）

NHK for schoolを中心とした動
画コンテンツです。近現代の学習
では、当時の映像資料として活用
できます。



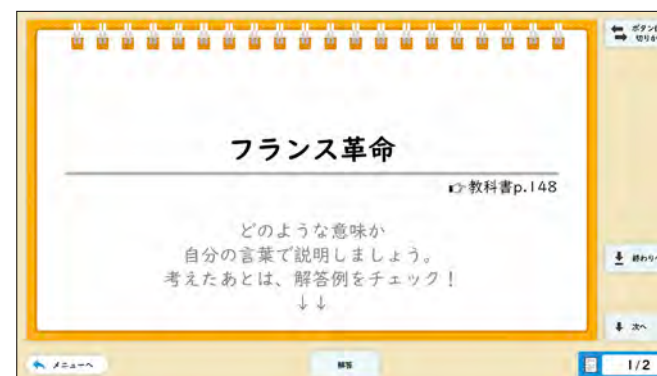
まとめ



QRコンテンツは
こちら

まとめページでは、活動
内容に沿った「ワーク
シート」、用語を確認で
きる「語句の意味を調べ
よう!」、思考の整理に役
立つ「思考ツール」など
を用意しました。

▶ p.198～201



ワークシート 探究のステップに取り組もう 語句の意味を調べよう！

探究のステップを解決する過程で、確認が必要となる語句の意味を
チェックすることができます。

活動ツール 思考ツール

探究のステップや探究課題の解決の過程で、思考ツールを使って考
えを整理することができます。





導入クリップ (動画)



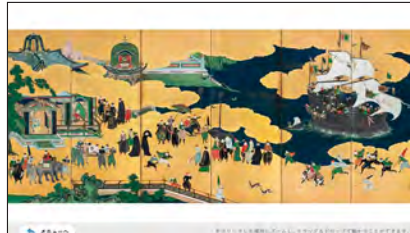
導入の活動で、小学校で学習した内容を想起することに役立てられます。これから学習する内容を確認し、時代全体を俯瞰できます。

D-MOVE (動画)



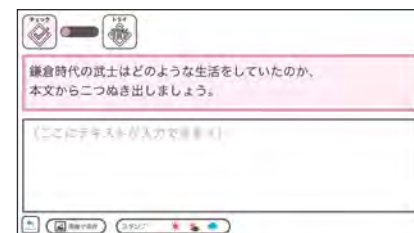
「NHK for school」を中心に、授業中に使える動画を用意しました。自社サーバーからの配信なので継続してアクセスでき、安心して活用できます。
※教科書の使用期間を想定しています。

D-ZOOM



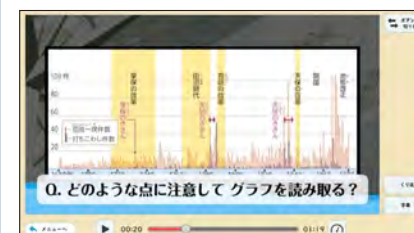
教科書に掲載の資料を拡大して見ることができます。資料をじっくりと読み取り、活用につなげることができます。

チェック＆トライ



毎時間の「チェック＆トライ」の問いに解答を入力できるコンテンツです。解答は画像で保存できます。

なるほど！
スキル・アップ (動画)



教科書紙面に掲載のコーナー「スキル・アップ」を動画で解説するコンテンツです。

活動ツール
シミュレーション



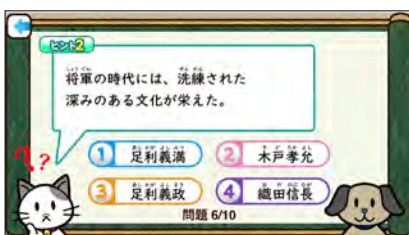
歴史に関わる事象の仕組みをシミュレーションでくり返し確認できるコンテンツです。

比べてみよう！地図



第2章 (古代までの日本) では、東アジアの地図が掲載される場面、前の時期の地図と比較ができるコンテンツを用意しました。

クイズ
だれだろう？歴史人物



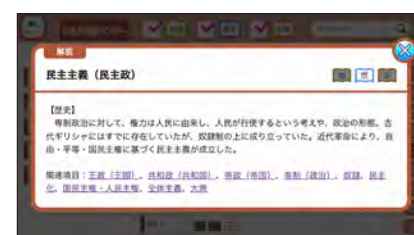
導入の活動で、小学校で学習した人物をクイズ形式で確認できます。レディネスを整え、学習にスムーズに入っていくことができます。

活動ツール
思考ツール



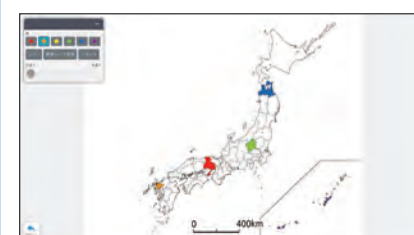
まとめの活動で、探究課題や探究のステップを解決する際、考えをまとめたり深めたりすることができます。

社会科用語
マスター



地理・公民の用語も含めたデジタル版の用語解説です。関連用語もワンクリックで確認でき、教科書の編集委員監修なので、安心して活用できます。

白地図をぬってみよう
(世界・日本)



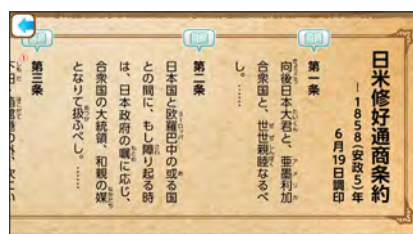
ワンクリックで簡単に色を塗ったり消したりできる白地図です。世界地図と日本地図があります。

活動ツール
社会科デジタルマップ



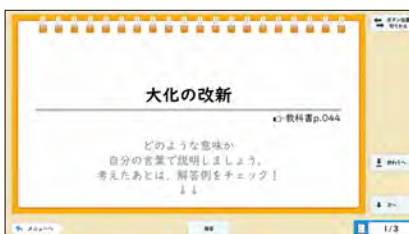
身近な地域の国宝・重文・史跡、前方後円墳、宿場町など、1つのテーマごとに位置情報をプロットし、簡単な解説を添えたデジタル地図です。

文献資料



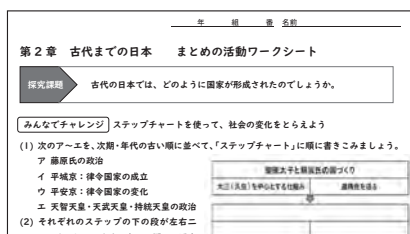
教科書に掲載の条約や法律などに、より詳しい解説や他の条文を追加したコンテンツです。

探究のステップに取り組もう
語句の意味を調べよう！



まとめの活動で、探究のステップを解決する際、確認が必要となる語句の意味を端末上でチェックすることができます。

ワークシート



導入の活動、まとめの活動の内容に沿ったワークシートです。主体的に学習に取り組むことができます。

D-MOVEのラインアップ

- 世界三大宗教
- 吉野ヶ里遺跡
- 大仙古墳
- 平城京
- 木簡
- 正倉院宝物
- 平安京
- 中国の歴史とモンゴル
- 元軍との戦い後の幕府
- 琉球王国
- 蝦夷地との交易
- 応仁の乱
- ルネサンス
- マチュピチュ遺跡
- キリスト教宣教師と信長
- 検地と刀狩
- 島原・天草一揆
- 出島
- 解体新書
- 黒船
- 富岡製糸場
- 北海道開拓
- 自由民権運動の弾圧
- 八幡製鉄所
- 足尾銅山鉱毒事件
- 日本と国際連盟
- 治安維持法
- 関東大震災
- 第二次世界大戦
- 太平洋戦争
- 学徒出陣
- 防空壕
- 玉音放送
- 極東国際軍事裁判 (東京裁判)
- 日本国憲法制定史
- ベルリンの壁
- サンフランシスコ平和条約
- 安保闘争
- キング牧師の演説
- 日韓基本条約
- 日中平和友好条約
- 高度経済成長
- 石油危機 (オイル・ショック)
- 9・11事件
- 旧ユーゴスラビア
- 阪神・淡路大震災

教科書からアクセスできるQRコンテンツ

内容	コンテンツ数
動画 (NHK for school、導入クリップ、なるほど！スキル・アップを含む)	75
チェック＆トライ	96
D-ZOOM	47
思考ツール	15
ワークシート	31
他分野・他教科紙面リンク	39
社会科用語マスター	1
その他	78
合計	382



歴史の学びをより広く、より深く

「歴史的な見方・考え方」

▼ p.10~15 「第1章1節 歴史をとらえる見方・考え方」

通史の学習を始める前に**歴史的な見方・考え方**をとらえます。「みんなでチャレンジ」の活動を通して、それぞれの概念をつかみ、その後の学習につなげます。

歴史的な見方・考え方をとらえる

「第1章1節 歴史をとらえる見方・考え方」 歴史的な見方・考え方の解説

歴史的な見方・考え方1 時期や年代

歴史の学習では、ある出来事が「いつ起こったのか」という**時期や年代**をとらえることが大切です。「時期や年代」の表し方には、さまざまな方法があります。出来事や人物が出てきたら、それらいつの時代(何年ごろ)に、どこで(だれによって)起こったのかを確認するようにしましょう。

歴史的な見方・考え方2 推移

歴史の学習では、出来事の「時期や年代」(p.10)に注目するだけでなく、複数の出来事を時間の流れに沿って整理し、どのように「推移」していったかをとらえることが必要です。「出来事や人物がどのように展開していったのか」「政治や社会、文化、国際関係がどのように変化・継続したのか」といったことに着目して学習しましょう。

歴史的な見方・考え方3 比較

物事の特徴をとらえるには、別の物事と「比較」することが必要です。例えば、右のQ. (1)(2)のように、前後の時代を比べて、共通する点や異なる点を考えることで、その時代の特徴をとらえることができます。

歴史的な見方・考え方4 相互の関連

歴史上の出来事は、ひとりで起こるわけではなく、背景や原因になった出来事や、影響を受けた出来事があります。右のQ. (3)のように、出来事の「相互の関連」を考えることで、歴史をより深くとらえることができます。

歴史的な見方・考え方5 現在とのつながり

過去の出来事の中には、現在にまで影響したり、私たちの生活と関係したりするものもあります。右のQ. (4)のように、「現在とのつながり」について考えることで、現在の社会への理解が深まります。

習得した「歴史的な見方・考え方」を資料の読み取りや思考の整理で働かせる!

歴史的な見方・考え方を働かせる

▼ p.271 第7章「探究のステップ」



ツールミン図式とは?

ある事実から、自分の主張を考えると、その主張の根拠や条件を整理することができます。

▼ p.189 第5章「日露戦争」



日清戦争と日露戦争による国民の負担とそちがいについて、8~10から読み取りましょう。



比較

p.62 第2章「まとめの活動」▶

みんなでチャレンジ



- 次のア〜エを、時期・年代の古い順に並べて、「ステップチャート」に順に書きこみましょう。
ア 藤原氏の政治
イ 平城京：律令国家の成立
ウ 平安京：律令国家の成立
エ 天智天皇・天武天皇・持統天皇の政治
- それぞれのステップの下の下段が左右二つに分かれています。左下の欄に、国内の様子を書きましょう。
- それぞれのステップの右下の欄に、日本の政治の推移に影響を与えた東アジアとの関係を書きましょう。
- 「ステップチャート」を基に、古代の日本では、どのように国家が形成されたのか、とまとめましょう。

リニューアル

対話的、活動的に学びを深める

「みんなでチャレンジ」

計36か所

みんなでチャレンジ

古墳の分布から考えよう

- 3から、前方後円墳がどの地域に集中しているか読み取りましょう。
- 3と9から、当時の大和政権の勢力がどこまでおよんでいたと考えられるか、グループで話し合しましょう。

▲ p.38 みんなでチャレンジ「古墳の分布から考えよう」

学習のさまざまな場面で対話的な活動を促すコーナーです。対話から他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整していくことで、主体的に学習に取り組む態度を養います。導入の活動、まとめの活動では全てのページに設けています。

みんなでチャレンジ

日本が戦争に突入した背景を考えよう

- p.224~229の出来事から、戦争につながったと考えられるものを挙げましょう。
- (1)を基に、日本が戦争をした理由について、グループで話し合しましょう。
- なぜ第一次世界大戦の教訓が生かされなかったのか、グループで話し合しましょう。

▲ p.229 みんなでチャレンジ「日本が戦争に突入した背景を考えよう」

歴史の学習に必要な技能を
確実に定着させる

「スキル・アップ」

計21か所

歴史の学習に欠かせない技能を身に付けるコーナーです。全てのスキル・アップで、QRコンテンツ「なるほど! スキル・アップ」(動画)を用意しています。動画の視聴で、よりスムーズに技能を身に付けられます。

スキル・アップ 20 風刺画を読み解こう

風刺画は、えがく人の主張を伝えるために、人や国、出来事などをこつていにえがいた絵のことです。風刺画を読み解くことで、当時の人々の考え方や受け止め方を知ることができます。読み取るときは、何が風刺の対象となっているかをつかんだうえで、誇張されたりゆめがめられたりしている部分に着目しましょう。

5 パイを切り分ける列強 中国
1と6の風刺画はどのようなことを風刺しているか、それぞれ「人物」「魚」「パイ」が表すものに着目して読み取りましょう。

▲ p.187 スキル・アップ20 風刺画を読み解こう

QRコードから解説動画へリンク!



紙面と対応した内容の動画で
より気軽に学べる!

▶ 詳しくは本書 p.21

リニューアル

学びのさらなる興味関心に応える

「もっと知りたい!」

本文の学習内容を、より深めたり、より広げたり、異なる視点でとらえたりしたコラムのコーナーです。多様な興味関心に応えられるように、ラインアップを充実させました。

もっと知りたい! 世界を大きく変えてきた感染症

感染症は歴史の中で社会にどのような影響を与えてきたのか、見てみましょう。

● コレラ・スペイン風邪、の大流行
発生、インドの風土病だったコレラは、19世紀における世界規模の人の移動とともに、急速に世界的な流行をみせた。日本においても、1858年に長崎に上陸したアメリカ軍艦によってもたらされたコレラが大流行した。しかし、当時の有効な治療法がなく、健康な人々への感染を防ぐために、船客(「隔離院」)に隔離する方法がとられていた。

● 20世紀に入ると、1918(大正7)年の春から、インフルエンザ(「スペイン風邪」)が第一次世界大戦における軍艦の移動とともに、世界的な流行となりました。参戦国では自国の感染状況に関する報道が規制されましたが、中立国のスペインでは報道されたため、「スペイン風邪」といわれました。日本国内の流行は、1921年7月までに、3回のピークを記録し、多くの人が亡くなりました。

● 結核の脅威
コレラや「スペイン風邪」など急性感染症が落ち着くと、かわって社会に大きく影響をあたえるようになったのが慢性感染症である結核です。結核は、労働などと呼ばれる生計手段には存在していましたが、それが大きな社会問題となったのは近代になってからです。人から人へ空気感染する結核は、必然的に多くの人が密集する場所です。工場・兵舎(兵士が居住する施設)・学校は、結核が広まりやすい環境にあったのです。

1944(昭和19)年、結核菌のストレプトマイシンが発見されるまで、結核治療のための根本的な方法はなく、患者の隔離と栄養管理が手立てでした。結核は、第二次世界大戦中にアメリカで流行しましたが、日本では結核菌がほとんどいなかったため、結核が流行しなかった。日本人の死因第1位は結核でした。

→ 結核の脅威(1954年) 結核菌のストレプトマイシンは、第二次世界大戦中にアメリカで流行しましたが、日本では結核菌がほとんどいなかったため、結核が流行しなかった。日本人の死因第1位は結核でした。

▲ p.197 もっと知りたい! 「世界を大きく変えてきた感染症」

今と向き合い これからのを考える教科書



東京書籍が大切にしている「5つのテーマ」

「新編 新しい社会」は、現代的な諸課題の解決に主体的に取り組む態度を育成するために、地理・歴史・公民の分野の枠をこえて貫く「5つのテーマ」を大切にしています。

▶ 本書p.34「現代的な諸課題と教材の対照表」もご覧ください。

▼ p.2~3

▼ p.193

▼ p.237

▼ p.120~121

▼ p.130

▼ p.196

環境 エネルギー

防災 安全

情報 技術

伝統 文化

人権 平和

歴史に学ぶ

持続可能な社会の実現に向けて

メディアの発達で日本を変えた

アイヌ文化とその継承

女性の政治参加を求めて

女性活動家(イギリス 1914年)

国政で女性の選挙権が認められた時期

分野や教科の垣根をこえて 「これからの社会のあるべき姿」を考える

社会科の3分野や他教科でも扱う学習内容には、分野関連と教科関連を示す⑧を示しました。また、小学校社会科で学習した内容にも⑧小学校を示し、小学校との関連を図っています。

他分野や他教科の関連ページの教科書紙面がQRコードからアクセスできます!

▼ 歴史p.176~177「領土をめぐる問題の背景」



▲ 地理「北方領土・竹島と尖閣諸島」



▲ 公民「領土をめぐる問題の現状」

これからの社会をともに考える

コラム「未来にアクセス」

持続可能な社会の実現に向けて、各地で見られるさまざまな取り組みから考えるきっかけとなるコラム「未来にアクセス」を新設しました。

未来にアクセス 女性の政治参加を求めて

欧米諸国では、19世紀後半に男性の選挙権が拡大しましたが(p.150)、女性の選挙権については、国政ではほとんどの国で認められていませんでした。20世紀に入ると、各国で女性の国政での選挙権を求める運動が盛んになりました。イギリスでは、言論だけにとらず、デモを行ったり暴力的な手段に訴えたりする女性もいました。第一次世界大戦後、女性が総力戦に大きく貢献したことを受けて、イギリスをふくめた多くの国で、女性の国政での選挙権が認められるようになりました。その一方で、各国の国会議員や政府に選ばれる女性の比率は、21世紀に入っても低いままになっています。



5 逮捕される女性活動家(イギリス 1914年)

ニュージーランド	1893年
オーストラリア	1902年
フィンランド	1906年(選挙実施は1907年)
ソ連(ロシア)	1917年
ドイツ	1918年(選挙実施は1919年)
イギリス	1918年
アメリカ	1920年
フランス	1944年
イタリア	1945年(選挙実施は1946年)
日本	1945年(選挙実施は1946年)
中国(中華民国)	1947年

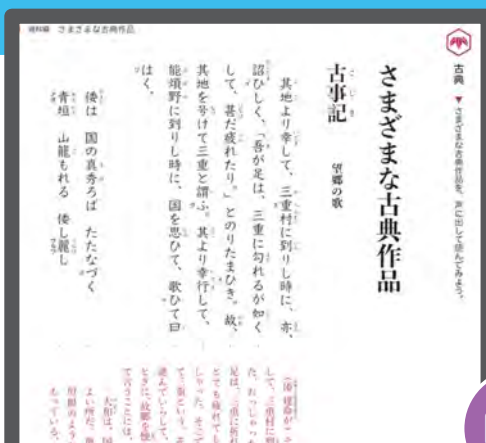
6 国政で女性の選挙権が認められた時期

▲ p.209 未来にアクセス「女性の政治参加を求めて」

他教科との関連

QRコードからアクセスできる他教科の紙面

歴史教科書	教科・分野	関連する学習内容
p.16	技術	情報モラル
p.29	書写	文字の移り変わり
p.51	国語	「古事記」「万葉集」
p.211	英語	ガンディー
p.217	国語	芥川龍之介「トロツコ」
p.231	道徳	六千人の命のビザ
p.268	保健体育	自然災害による傷病の防止



▲ 国語1年「古事記」

国語

誰一人取り残されない学びのために

資料掲載部分に背景色を入れて 本文部分との区別を明確に

資料の掲載部分に薄い色を付けることで、本文との区別を視覚的に分かりやすくしました。



1 桜田門外の変 (1860年) (蓮田市五郎筆 桜田門外の変図 茨城県立図書館蔵) 3月3日の節句の日、井伊直弼は江戸城に向かう途中で暗殺されました。その日は雪が降っていて、不意をつかれた彦根藩士たちは、十分に防戦できませんでした。この絵は、元水戸藩士の一人が後にえがいたものです。

3 ゆれる日本、ゆれる幕府

開国後の 政治と経済



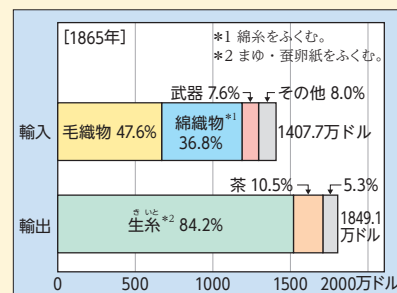
学習課題 開国によって、日本の社会はどのような影響を受けたのでしょうか。



D-ZOOM 活動ツール
チェック＆トライ

3 吉田松陰 (1830～59)

幕末から明治時代に活躍する人物を育てる
長州藩の下級武士出身で、私塾の松下村塾(p.135)で人材を育てました。幕府の対外政策に反対し、老中の暗殺を計画したことで、安政の大獄によって処刑されました。(山口県文書館蔵)



4 幕末の貿易 (梅村又次ほか編「日本経済史3 開港と維新」)

幕府への批判の高まり

幕府が朝廷の許可をせずに通商条約を結んだことから、天皇を尊ぶ尊王論と、外国の勢力を排除しようとする攘夷論とが結び付き、幕府の政策を批判する尊王攘夷運動が盛んになりました。

同じころ、将軍のあとつぎをめぐる、徳川慶福(後の第14代将軍家茂)を支持する譜代大名たちと、徳川(一橋)慶喜を支持する雄藩の大名たちとが対立していました。井伊直弼は、慶福をあとつぎに決め、幕府の政策を批判して政治への発言力を強めようとする雄藩をおさえ、幕府の権威を立て直そうとしました。そして、雄藩の大名や公家、その家臣などを厳しく処罰しました(安政の大獄)。しかし1860年、直弼は、弾圧に反発する元水戸藩士たちによって、暗殺されました(桜田門外の変)。

大老を殺された幕府の権威は大きく損なわれました。幕府は、朝廷との結び付きを強めることで権威を取りもどそうとし(公武合体策)、天皇の妹を第14代将軍の夫人にむかえました。また、薩摩藩(鹿児島)と朝廷との結び付きを強め、改革を行いました。

QRコードを 定位置に掲載！

学習課題やタイトルの隣にQRコードを掲載。定位置に置くことで、迷わずにいつでもデジタルコンテンツを活用できます。

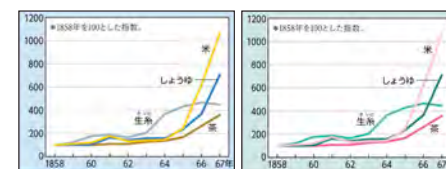
▶ 詳しくは、本書p.20～21をご覧ください。

本文からぬき出し

一人一人にとって使いやすく学びやすい教科書であることを、東京書籍は大切にしています。
多様性に配慮し、誰一人取り残されない学びのために、あらゆる工夫をしています。

カラーユニバーサルデザインに全対応

- 専門家の助言をもとに色覚特性の観点から紙面や図版を見直し、カラーユニバーサルデザインに全面的に対応しました。
- グラフや地図は、色覚特性のある生徒でも見分けられる色の組み合わせを採用しました。

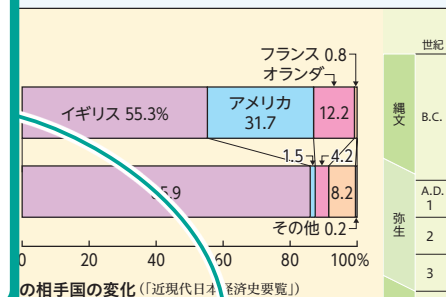


▲ 色覚特性による見え方の変化の例
(左：1型2色覚、右：3型2色覚)

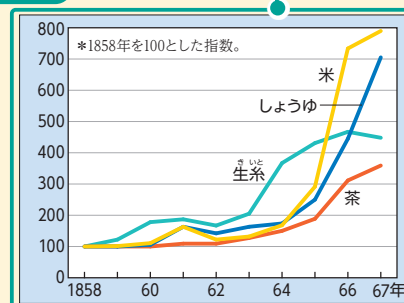


5 開国後の状況を示した浮世絵 (歌川芳虎筆 子供遊戯あぐらべ 東京都早稲田大学図書館蔵)

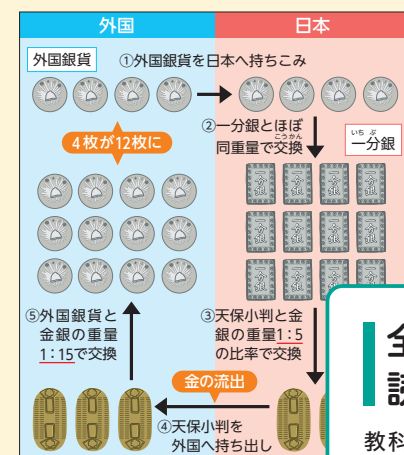
- (1) 5はどのような状況を示しているか、7を参考に考えよう。
- (2) 6で、アメリカではなくイギリスが最大の貿易相手国となった理由を、当時のアメリカの状況に着目して考えよう。



の相手国の変化 (『近現代日本経済史要覧』)



7 開国後の物価の変化



全ての文字を 読みやすく

教科書の全ての文字に、字形を判別しやすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を採用しました。

学習者用デジタル教科書では、文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書きで表示したりするなど、特別支援教育に対応しています。

▶ 本書p.29もご覧ください。

学習に集中できる フラットデザイン

不要な陰影や立体感のあるデザインをなくし、シンプルなデザインにしました。

▲ p.160～161

大きく見直し、サポートを充実！

教師用指導書のご案内

指導編（朱書）を新規発行し、サポートを大幅に充実させます。経験の浅い先生も安心してご指導いただけます。

指導編（朱書）

NEW

指導編（朱書）クラウド配信版

NEW

研究編

教師用指導書（朱書）の紙面イメージ

学習の流れ

導入

探究課題

展開

まとめ

学習の流れ

生徒が主体となる学習活動に沿って、教師の発問例を示しています。

探究課題・本時のねらい・導入資料のねらい

単元を貫く問いを常に意識できるよう、探究課題を示しています。また、1時間ごとの目標を示す「本時のねらい」と、「導入資料のねらい」を示しています。

教師用指導書ラインアップ（予定）

● 指導編（朱書）

● 指導編（朱書）クラウド配信版

● 研究編

● 指導書コンテンツライブラリー

● 指導者用デジタル教科書（教材）

※本ページで紹介している製品は企画中のため、内容・仕様が変更になる場合があります。

指導書コンテンツライブラリー

〈配信予定コンテンツ〉

● 評価問題

● 年間指導計画案

● 「本時の要点」テキストデータ

● ワークシート

● 教科書本文テキスト

● 教科書図版集

● 総ルビ・分かち書きの教科書紙面

● 白地図データ

● 指導書付属「My Globe」(デジタル地球儀)

そのほか、Google Workspace for Education や Microsoft Teams で利用できるコンテンツを配信予定です。先生方の授業をサポートできるよう、コンテンツは随時更新していきます。

※Google、Google Workspace for Education は、Google LLC の商標です。
※Microsoft、Microsoft Teams は、マイクロソフトグループ企業の商標です。

▲ 総ルビ・分かち書きの教科書紙面（令和3年度 中学校「新しい社会 歴史」）

指導者用デジタル教科書（教材）

教師用指導書同梱購入可能

〈主な搭載機能・コンテンツ〉

● マスク表示

生徒から引き出したい教科書の内容（既定）に、マスクを表示することができます。

● MY 教科書エディタ

教科書のテキスト、写真、図版などを自由に取りこんでレイアウトできるほか、テキストのアレンジやお持ちの写真データを貼り付けて、オリジナルの教材を作ることができます。

● 指導者用オリジナルの図版コンテンツや動画コンテンツ

● 教科書のQRコンテンツ

電子黒板を使用した指導に最適な掲示型教材です。写真やグラフなど、教科書の「見せたいところ」をクリックするだけで提示でき、教科書のQRコンテンツなどにもリンクできます。

▲ 指導者用デジタル教科書（教材）の画面イメージ

学習者用デジタル教科書

1 複数の教科書を一括管理

東京書籍をはじめ複数の発行者などが採用しているビューア「Lentrance Reader」を用いています。さまざまな教科書を一括管理でき、教科横断的な学習に便利です。

2 学習を支える便利な機能

教科書に、ペンツールで自分の考えを書き込んだり、ウェブ上の参考資料へのリンクを貼り付けたりすることができます。また、教科書のQRコードをクリックして連携するコンテンツを利用することができます。

3 特別支援教育への対応

文字の色や大きさ、行間などを読みやすいよう調整したり、写真や図版などを拡大したりすることができます。また、本文を読み上げたり、総ルビ・分かち書き紙面に切り替えることができるので、生徒一人一人が自分の読みやすい教科書にカスタマイズできます。

※Lentranceは、日本国、米国、及びその他の国における株式会社Lentranceの登録商標または商標です。

教育基本法との対照表

各種資料をこちらからダウンロードできます。

教育基本法 第 2 条	『新編 新しい社会 歴史』の内容の特色	教科書の該当箇所
第 1 号： 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	● 学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す大きな「導入資料」を設け、主体的な学びを促すとともに、真理を求める態度を養えるようにしました。 →本書 p.8-11 参照	全体 (特に p.22-23、64-65 など)
	● 単元は問いによって構造化されており、単元を貫く課題（探究課題）、各見開きの「学習課題」と「チェック＆トライ」の解決を通して、課題解決的な学習ができるように構成されています。 →本書 p.6-7 参照	全体
	● 本文は丁寧で、事象の背景や因果関係が分かりやすく、歴史的な事象をとらえて幅広い知識と教養が身に付けられるようにしました。	全体
	● 「歴史的な見方・考え方」を働かせた深い学びが実現できるよう、第 1 章 1 節で「歴史をとらえる見方・考え方」を設けるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」マークを付して、働かせる場所と視点を明示することで、学習を深められるようにしました。 →本書 p.12-13、22 参照	p.10-15、26、30 など
第 2 号： 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うこと。	● 「スキル・アップ」コーナーを設け、歴史地図・文献資料・系図・グラフ・風刺画といった資料の読み取りや、調査や分析の手法などの技能を生徒自らが身に付けることで、社会的事象を読み解く能力を伸ばし、自主と自律の精神を養えるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.29、37、40、43、131、187 など
	● 人物コラムや「もっと知りたい!」で、国際的に活躍し評価される日本人を取り上げ、勤労を重んじる態度を養えるようにしました。	p.208、231 など
	● 色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいデザインを全面的に採用したほか、使用する全ての文字を誰もが読みやすいように改善された「ユニバーサルデザインフォント」とし、不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を取り入れたことで、様々な特性を持つ生徒の価値を尊重するとともに、その能力を伸ばせるようにしました。 →本書 p.26-27 参照	全体
第 3 号： 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	● 巻頭で、持続可能な社会の実現に向けて歴史から学ぶことの重要性を取り上げるとともに、第 7 章 3 節「新たな時代の日本と世界」では、歴史の学習をふまえて自分なりの考えをまとめる活動を充実させることで、より良い社会の形成に主体的に参画する資質や能力を養えるようにしました。	p.2-3、264-265、274-275 など
	● 第 1 章 2 節「身近な地域の歴史」では、歴史を調べる際の手法を丁寧に説明し、地域社会に積極的に関わり、主体的に社会の形成に参画する意識と態度を養えるようにしました。	p.16-19
	● 「みんなでチャレンジ」コーナーを随所に設け、活動を通して他者の考えを尊重しながらグループで対話したり、協力しながら活動する場面を示すことで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育成できるようにしました。 →本書 p.23 参照	p.9、10、12、14、23、26 など多数
第 4 号： 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	● 全章を貫く 5 つのテーマの 1 つとして、「環境・エネルギー」に関する題材を積極的に扱うとともに、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を取り上げ、環境保全に寄与する態度を高められるようにしました。	p.2-3、193、257、264、266-267 など
	● 歴史上の公害問題や地球環境問題を多く取り上げ、環境保全への意識を高めるとともに、生命尊び自然を大切にする心を養えるようにしました。	p.155、193、257、264 など

教育基本法 第 2 条	『新編 新しい社会 歴史』の内容の特色	教科書の該当箇所
第 5 号： 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	● 全章を貫く 5 つのテーマの 1 つとして、「伝統・文化」に関する題材を積極的に取り上げ、我が国の伝統文化への理解を深めるとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を養えるようにしました。	p.2-3、58-59、86-87、109、120-121 など
	● 文化史に十分な紙面を割くとともに、特設ページ「もっと知りたい!」では、現代に受け継がれる神話や琉球文化、アイヌ文化を取り上げ、伝統や文化への理解を深められるようにしました。	p.38、43、50-51、56-57、58-59、74-75、86-87、120-121 など多数
	● 世界史の学習内容として、古代文明や三大宗教、東アジアにおける朝貢、イスラーム世界やモンゴル帝国の拡大などを扱い、我が国の歴史を国際的な視点からとらえられるようにするとともに、他国の文化を尊重する意識や態度を高められるようにしました。	p.26-33、76-79、84-85 など
	● 第 1 章 2 節「身近な地域の歴史」では、歴史調査の手法とともに、身近な地域の国宝、重要文化財や主な史跡を数多く紹介することで、我が国の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を養えるようにしました。	p.20-21
	● 第 5 章 3 節 6 項「領土をめぐる問題の背景」では、我が国が抱える領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を丁寧に解説することで、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できるようにしました。	p.176-177
	● 第 7 章「現代の日本と私たち」では、戦後から今に至る日本と世界の動きについて理解を深めることで、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。	p.244-275

検討の観点と内容の特色

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	● 本文は見開き 2 ページで 1 単位時間を原則にしています。 ● 目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は 276 ページで、標準授業時数 135 時間のうち、5 単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 ● 授業時数は、1 章に 6 単位時間、2 章に 19 単位時間、3 章に 16 単位時間、4 章に 22 単位時間、5 章に 27 単位時間、6 章に 19 単位時間、7 章に 14 単位時間を配当しており、適切な配当といえます。→本誌 p.35「単元構成と配当授業時数」参照	全体
	適正な内容・分量	● 内容の程度、範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており、文章も敬体（ですます体）を用い、平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。 ● ふりがなは、教育漢字外の漢字に、見開き 2 ページごとに付すことを原則に、固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また、本文だけでなく、資料ごとに付すことで、ほかの箇所でも読み方を確認する必要があるないようにしました。	全体
教育基本法・学習指導要領への対応	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	● 見開き 1 単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→ 1 時間を貫く問いである『学習課題』→ 丁寧に分かりやすい『本文』→ 1 時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 →本誌 p.12-13 参照	全体
		● 歴史学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。→本誌 p.23 参照	巻頭 3、p.1、11、13、16-19 など
		● 本文等の抽象的な用語を解説する巻末の「用語解説」を設け、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。また、QR コンテンツでは、社会科で学習する用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。	p.276-281
	「歴史的な見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	● 第 1 章 2 節で「歴史的な見方・考え方」を明示してとらえさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマークを設け、学習を深められるようにしました。	p.10-15、26、30、36、39、43、48 など
		● 各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。	p.24-25 など
		● 各章の終結部には「ウェビング」「ステップチャート」といった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。→本書 p.16-17 参照	p.60-62、94-96、140-142 など
		● 小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。→本書 p.23 参照	p.22、26、38、42、62 など

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
教育基本法・学習指導要領への対応	我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え、国土、歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。	● 政治史や経済史に偏重することなく、文化史にも十分な紙面を割くとともに、「もっと知りたい!」では、神話やアイヌ文化など、現代に受け継がれている文化を扱うことで、我が国の伝統や文化に対する理解を深め、伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。	p.50-51、58-59、74-75、86-87、110-111、120-121 など
		● 第1章2節には、我が国が世界に誇れる国宝や重要文化財などを取り上げ、通史学習でも該当の文化財や世界遺産、世界の記憶、無形文化遺産にマークを付すことで、文化財を通して、我が国の歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしました。	p.20-21 など
		● 時代や出来事のポイントとなった人物を紹介した人物コラムを随所に設け、人物に目を向けた歴史学習を行えるようにしました。特に、近代以降の人物には、出身県を示すことで、郷土にゆかりのある人物を意識できるようにしました。	p.53、101、160、170、208、265 など
	我が国の領域を正しく理解できるように配慮がされているか。	● 我が国がかかえる領土をめぐる問題について、領有の歴史的な経緯を取り上げること、領土をめぐる問題の背景を正しく理解し、解決に向けての意識が高められるようにしました。	p.174-175、176-177
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	● 巻頭では「歴史に学ぶ 持続可能な社会の実現に向けて」を設けて、これからの未来を考えるために歴史を学ぶ必要があることを意識できるようにしました。	p.2-3
		● 「地域の歴史を調べよう」では時代や地域の異なる5事例を紹介し、「身近な地域の歴史」を学ぶことを通して、主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。	p.40-41、138-139、164-165 など
		● 「未来にアクセス」では、歴史的な経緯を踏まえながら現代社会においても継続的な課題である社会事象を意識できるようにしました。 ➡本書 p.22 参照	p.209、247、253、263、265 など
	教材の配列は、学習しやすいように配慮されているか。	● 各時代の学習を、「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し、学習の流れをとらえやすくしました。 ➡本書 p.6-7 参照	(古代の例) 導入部：p.22-23 → 展開部：p.24-25 → 終結部：p.60-63
	導入やまとめ、問題提起に必要な教材、学習の整理のための配慮などは、十分になされているか。	● 第2～7章の学習は、①単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→②1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→③「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し、課題解決的な学習を進めやすくしました。また、節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで、「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。	(中世の例) ①導入の活動：p.64-65 → ②問いの追究：p.66-67 → ③まとめの活動：p.94-97
		● 各見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し、学習にスムーズには入れるようにしました。	全体
構成・配列	写真・図表その他の資料が適切に用意され、学習効果を高めるように配慮されているか。	● 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付すことで、効果的に学習できるようにしました。	p.24、35、38 など
		● 歴史研究の成果をふまえ、復元写真や想像図など、歴史が実感できる資料を豊富に掲載しました。	全体
		● 小さな資料は実物大で掲載し、大きな資料にはサイズを付すことで、生徒が具体的なイメージを持って学習できるようにしました。	実物大資料：p.34、37、45、47、88、125、161、169
	小学校や高等学校との接続・系統性があるか。	● 各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QR コンテンツでは既習事項をふり返るなど単元学習をイメージしやすいコンテンツを用意して、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。	p.22-23、64-65、98-99、144-145 など
		● 巻頭に絵画資料や資料や写真から時代をとらえる「資料から発見!」を設け、また各章末に年表や地図、グラフ、絵画資料などを読み取るコーナーを設けて、高等学校の必修科目「歴史総合」につながる資料を読解する力をを養えるようにしました。	巻頭1-p.1、63、97、143 など
	他分野との関連に配慮しているか。	● 3年間の社会科学学習を貫く5つのテーマ(「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」)について、3分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマークを付すことで、多面的・多角的な学習ができます。 ➡本書 p.24-25 参照	p.120-121、196、266-267、268-269 など
	他教科との関連に配慮しているか。	● 国語、道徳など他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマークを付し、教科を横断した学習の確認ができます。 ➡本書 p.25 参照	p.16、29、51、57、75、211 など
	学習効果を高めるQRコンテンツが用意されているか。	● 導入→本文→まとめという学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 ➡本書 p.18-19 参照	全体
		● 導入ページでは、小学校の学習をふり返る動画を用意し、小学校の学習内容を思い出しながら、中学校の学習をスタートできるようにしました。	p.22-23、64-65、98-99 など
		● 展開ページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまずきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、QR コードを学習課題の隣に置きました。	p.24 など
		● まとめページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容をまとめるワークシートを用意しました。	p.60-62、94-96 など

観点	観点の内容	『新編 新しい社会 歴史』の特色	該当箇所
今日的な課題への対応	持続可能な開発目標(SDGs)	● 教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の5つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。	p.2-3、274-275
		● 第7章「現代の日本と私たち」では、「持続可能な開発目標(SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。	p.265
	環境・エネルギー	● 公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。	p.155、193、256-257、266-267 など
	人権・平和	● 同和問題や、アイヌ民族、琉球王国、在日韓国・朝鮮人の歴史を、ページを割いて扱い、人権尊重・多文化共生の意識を高められるようにしました。	p.86-87、93、118-119、120-121、218-219、247、265 など
	伝統・文化	● 文化史に十分な紙面を割き、我が国の伝統や文化を着実に理解できるようにしました。	p.50-51、56-57、74-75 など
		● 代表的な国宝・重要文化財や主な史跡を取り上げた特設ページを設けて、我が国の伝統や文化に対する関心を高められるようにしました。	p.20-21
		● 小学校の学習指導要領に示された42人の人物をもれなく取り上げるとともに、人物コラムを設け、人物を手がかりにした歴史学習ができるようにしました。近代以降の人物については出身県を示し、郷土の偉人を確認できます。	p.69、70、80、83、170 など
	防災・安全	● 歴史上の災害やそれを乗り越えてきた人々の姿、歴史上の防災対策を、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、防災・減災への意識や態度を養えるようにしました。	p.130、197、217、264-265、268-269 など
	情報・技術	● 我が国におけるメディアの発達とそれに伴う社会や文化の変容について、本文ページや「もっと知りたい!」で取り上げ、現在の情報環境の成り立ちを歴史的にとらえられるようにしました。	p.170-171、196、216、258-259 など
	先生がたの働き方改革への貢献	● 1見開きあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。	全体
		● 単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせ、単元構想が立てやすくなるようにしました。	p.22-23、60-62 など
		● 紙面上で、活用場面に「見方・考え方」を働かせる視点の例をわかりやすく提示しました。 ➡本書 p.22 参照	p.26、30、36、39、43、48 など
印刷・造本	インクルーシブ教育を目指して	● 特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できるようにしました。	全体
		● 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。	
		● 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。	
	令和の日本型教育の推進	● 色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。	全体
		● 小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。	
	表記・表現	● 別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更(リフロー表示)、本文の読み上げ(機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。 ➡本書 p.28-29 参照	全体
		● 紙面に付したQRコードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習を調整することができます。	
印刷・造本	製本・印刷	● 印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。	全体
	用紙・紙質	● 強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。	全体
		● 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。	全体
		● 用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用し環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。	

現代的な諸課題と教材の対照表

1 人権・平和：基本的人権や国際平和、共生社会にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	6	2	p.217	関東大震災
3	1	p.73	地頭を訴えた農民たち			p.218-219	「解放令」から水平社へ
	2	p.93	河原者たちの優れた技術		3	p.223	ドイツの戦後
4	2	p.122-123	さまざまな身分と暮らし			p.229	斎藤隆夫の「反軍演説」
	3	p.137	渋染一揆		4	p.231	「命のビザ」
						p.237	ひめゆり学徒隊
5	4	p.185	エルトゥールル号遭難事件	7	1	p.247	在日韓国・朝鮮人
		p.193	社会主義の動向と大逆事件			p.251	イスラエルの成立とパレスチナ問題
		p.195	全ての子どもに教育を		2	p.253	原水爆禁止運動
		p.197	世界を大きく変えてきた感染症			p.263	女性の社会参画
6	1	p.209	女性の社会参加を求めて		3	p.265	在日外国人の推移と共生の課題
		p.211	ガンディーの非暴力・不服従運動				

2 伝統・文化：我が国や他国の伝統・文化、国土や歴史への理解にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	巻頭 1-p.1	資料から発見！「時代」を伝える資料をじっくり見てみよう	3	2	p.84-85	東アジアとの交流
		p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて			p.86-87	東アジア世界の国々の交流と琉球文化
1	2	p.20-21	身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財			p.92-93	室町文化とその広がり
2	1	p.26-27	古代文明のおこりと発展	4	1	p.100-101	ヨーロッパ世界の変化
		p.28-29	中国文明の発展			p.109	朝鮮人陶工と日本の陶磁器文化
		p.30-31	ギリシャ・ローマの文明			p.110-111	桃山文化
		p.32-33	宗教のおこりと三大宗教		2	p.118-119	琉球王国やアイヌ民族との関係
	2	p.38	古墳時代の文化			p.120-121	アイヌ文化とその継承
3	3	p.43	飛鳥文化	3		p.128-129	幕府政治の安定と元禄文化
		p.50-51	天平文化			p.134-135	新しい学問と化政文化
		p.56-57	国風文化	5	2	p.194-195	近代文化の形成
		p.58-59	現代に生きる神話	6	2	p.216-217	新しい文化と生活
3	1	p.74-75	鎌倉時代の文化と宗教	7	2	p.258-259	マスメディアと現代の文化
	2	p.76-77	中世のユーラシア大陸				

3 環境・エネルギー：地球環境問題や資源エネルギー問題など、持続可能な社会にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	7	2	p.256-257	日本の高度経済成長
5	4	p.193	足尾銅山鉱毒事件		3	p.266-267	日本のエネルギーのこれまで

4 防災・安全：自然災害や復旧・復興などの防災・安全にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	6	2	p.217	関東大震災
4	3	p.130	江戸の防災	7		p.264-265	熊本地震、阪神・淡路大震災、東日本大震災
5	4	p.197	世界を大きく変えてきた感染症		3	p.268-269	震災の記憶を語りつぐ

5 情報・技術：情報化や技術の進歩が人間社会に与える影響にかかわる教材

章	節	ページ	項目	章	節	ページ	項目
-	-	p.2-3	持続可能な社会の実現に向けて	5	4	p.196	メディアの発達が日本を変えた
5	1	p.154-155	産業革命と資本主義	6	4	p.216	メディアの発達と文化の大衆化
	3	p.170-171	富国強兵と文明開化	7		p.258-259	マスメディアと現代の文化
	4	p.192-193	産業革命の進展		2	p.259	インターネットの発達

■ 単元構成と配当授業時数

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	教科書ページ	配当時数
巻頭	資料から発見！ 「時代」を伝える資料をじっくり見てみよう	A-(1)	巻頭 1-1	
	持続可能な社会の実現に向けて	A-(1)	2-3	1
	もくじ		4-5	
	この教科書の使い方と学び方		6-7	
第1章	歴史へのとびら	A-(1)(2)	8-21	6
1節	歴史をとらえる見方・考え方	A-(1)	8-15	4
2節	身近な地域の歴史	A-(1)	16-21	2
第2章	古代までの日本	B-(1)	22-63	19
1節	世界の古代文明と宗教のおこり	B-(1)	24-33	5
2節	日本列島の誕生と大陸との交流	B-(1)	34-39	3
	●大陸への玄関口 福岡（地域の歴史を調べよう1）	A-(2)	40-41	(6)
3節	古代国家の歩みと東アジア世界	B-(1)	42-59	8
第3章	中世の日本	B-(2)	64-97	16
1節	武士の政権の成立	B-(2)	66-75	5
2節	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	B-(2)	76-93	8
第4章	近世の日本	B-(3)	98-143	22
1節	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	B-(3)	100-111	7
2節	江戸幕府の成立と対外政策の変化	B-(3)	112-123	5
3節	産業の発達と幕府政治の推移	B-(3)	124-137	7
	●藩の政治と産業 会津（地域の歴史を調べよう2）	A-(2)	138-139	(6)
第5章	開国と近代日本の歩み	C-(1)	144-201	27
1節	欧米における近代化の進展	C-(1)	146-155	5
2節	欧米の進出と日本の開国	C-(1)	156-163	4
	●幕末を生きた先人たち 福井（地域の歴史を調べよう3）	A-(2)	164-165	(6)
3節	明治維新	C-(1)	166-181	9
4節	●明治維新のまちづくり 新潟（地域の歴史を調べよう4）	A-(2)	182-183	(6)
	日清・日露戦争と近代産業	C-(1)	184-197	6
第6章	二度の世界大戦と日本	C-(1)	202-243	19
1節	第一次世界大戦と日本	C-(1)	204-211	4
2節	大正デモクラシーの時代	C-(1)	212-219	3
3節	世界恐慌と日本の中国侵略	C-(1)	220-229	5
4節	第二次世界大戦と日本	C-(1)	230-237	4
	●被爆建物の保存と継承 広島（地域の歴史を調べよう5）	A-(2)	238-239	(6)
第7章	現代の日本と私たち	C-(2)	244-275	14
1節	戦後日本の出発	C-(2)	246-249	2
2節	冷戦と日本の発展	C-(2)	250-259	5
3節	新たな時代の日本と世界	C-(2)	260-269	3
	歴史のまとめ	C-(2)	274-275	1
			予備時間	5
			合計	135

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。
※第2～7章の配当時数には、「導入の活動」(1時間)と「まとめの活動」(2時間)も含まれます。
※内容A-(2)の「身近な地域の歴史」は、第1章2節のほかに、「地域の歴史を調べよう」の6事例を参考にして6時間を配当することを想定しています。

■ 東京書籍「新編 新しい社会」の仲間たち

